

令和7年9月 斐伊川水系水質情報

令和7年9月(宍道湖1日・中海4日採水)							単位:mg/l(Chl-a: μg/l)			
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
C O D	全層	5. 3	△	平年並み	3. 5	△	平年並み	4. 7	△	平年並み
全窒素	上層	0. 46	△	平年並み	0. 35	○	良好(平年並み)	0. 40	○	良好(平年並み)
全リン	上層	0. 123	★	非常に高い	0. 049	△	平年並み	0. 059	△	平年並み
Chl-a	上層	32	△	平年並み	6. 0	△	平年並み	17	△	平年並み
塩化物イオン	上層	4, 640	×	やや高い	12, 100	△	平年並み	10, 900	△	平年並み
	下層	4, 640	×	やや高い	17, 400	△	平年並み	14, 300	×	やや高い
溶存酸素	上層	8. 7		やや低い	7. 5		やや低い	8. 6		やや低い
	下層	7. 7		平年並み	2. 3		やや低い	3. 4		やや低い

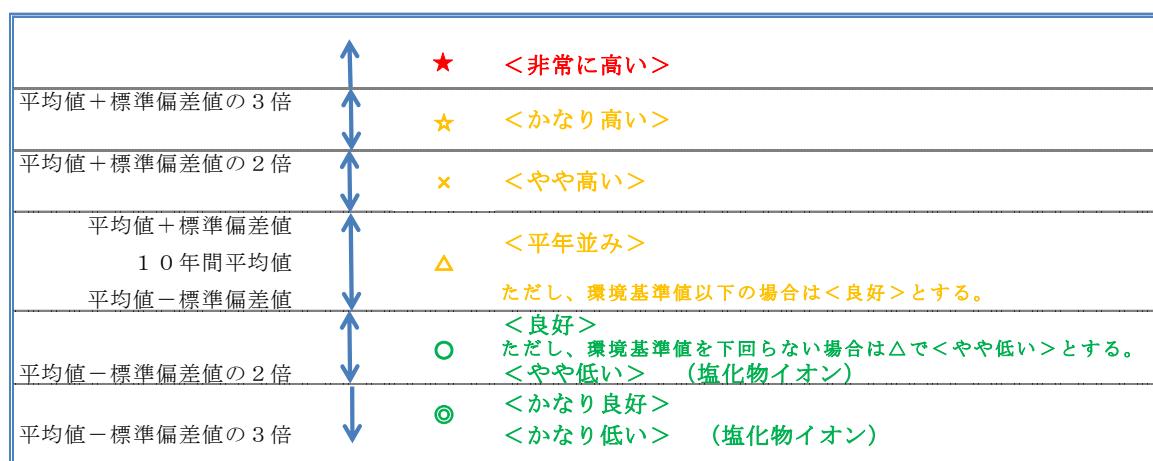
前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
C O D	全層	4. 6	やや上昇	4. 6	下降	5.8	下降
全窒素	上層	0. 38	やや上昇	0. 35	横ばい	0. 37	横ばい
全リン	上層	0. 098	上昇	0. 050	横ばい	0. 044	やや上昇

宍道湖の透明度は1. 7mから1. 6mと横ばいで、平年並み。中海の透明度は2. 2mから2. 5mとやや上昇し、平年並み。米子湾の透明度は1. 9mから1. 7mと横ばいで、平年並みになっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について



2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

注)平均値±標準偏差値 ……全体のおよそ 68.2%

前月値±標準偏差値の 1/2 以上、以下の変化…やや上昇、やや下降、横ばい

平均値±標準偏差値の2倍…全体のおよそ 95.5%

前月値±標準偏差値の 1/2 以内の変化…横ばい

平均値±標準偏差値の3倍…全体のおよそ 99.7%